

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700023
事業所名	グループホームぬくもり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 以前は、ボランティアによるイベントへの参加や法人内の他施設との協力といった地域連携は叶ってしたが、5類に移行したといっても未だ感染には慎重にならざるを得ず、コロナ禍前に戻ったとはいえません。それでも、事業所内で住職様の説法を伺う会は復活しており、日常の散歩で近隣の皆さんと挨拶を交わすといった小さな交流を続けています	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ禍対策として令和2年4月から外部からの参加者はなく、事業所内でまとめた書類を市役所へ提出しています。昨年の6月からは津島市役所以外のメンバーにも届けるようになり、地域包括支援センター、民生委員、福祐寺住職、家族へは郵送しており、意見は書面で提出をしてもらえ、サービスの質の向上につなげています	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 津島市のネット配信は必ずチェックするとともに、書面提出は郵送ではなく市役所窓口に出向き、助言を直接仰ぐことで不明点を払拭しています。また、地域包括支援センターには運営推進会議の議事録への返信の中で、「5類移行で外出が増えることから感染に気をつけたうえで事故のリスクを最大限減らし、活動能力が低下しないよう図ってください」といった、あたたかな助言が届いています	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者と家族の絆に重きを置き、生活上の困りごとには家族と協力し合い、定期的な状況報告と相談を通じて、共に本人を支える関係を築いています。利用者にはコロナ禍の生活で活動に長い間制限があった為、本年は「適切な人員配置と安全対策をしながら外出する」「社会福祉協議会から地域ボランティアを紹介してもらう」ことを目標としています	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	×	×	○	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							